SURE 静岡大学学術リポジトリ Shizuoka University REpository

静岡県地学会のあゆみ(120)

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 静岡県地学会
	公開日: 2022-02-07
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028587

静岡県地学会のあゆみ (120)

東部支部活動:8月7・11・20・24日、「楽寿園と周辺のジオと歴史」と題した巡検会を実施(参加者: 65 名、案内者: 増島 淳会員・新間則生会員). 9月 16・21・24 日、「ジオツアー三島 66」(頼朝旗 揚げ②牛鰍大路~山木兼隆館跡、韮山城)と題した巡検会を実施(参加者:71名,案内者:増島 淳会員・新間則生会員). 10月7・15日、「ジオツアー三島23」(大見川下流域のジオと歴史 八幡~ 修善寺のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者:67名,案内者:増島 淳会員・新間則生会 員). 10月26・27日.「ジオツアー三島・特別編」(大学構内と周辺のジオと歴史)と題した巡検会 を実施(参加者:32名, 案内者:増島 淳会員・新間則生会員). 11月11・16・19日,「ジオツアー 三島69」(裾野駅東の三島溶岩と石造物)と題した巡検会を実施(参加者:63名,案内者:増島 淳 会員・新間則生会員). 12 月 9・14・17 日. 「ジオツアー三島 70 | (三島市北上地区のジオと歴史) と 題した巡検会を実施(参加者:63名,案内者:増島 淳会員・新間則生会員).1月10日,東部支部 拡大運営委員会を実施し、東部支部運営委員の引継ぎと今後の運営について協議した。1月13・21日、 「水の郷公園(清住緑地+丸池)」(西町のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者:62名、案内者: 増島 淳会員・新間則生会員). 2月10・15・18日、「ジオツアー三島72」(牧之郷地区のジオと歴史) と題した巡検会を実施(参加者:73名, 案内者:増島 淳会員・新間則生会員). 3月9・17日, 「ジ オツアー三島71」(箱根西坂のジオと歴史) と題した巡検会を実施(参加者:50名,案内者:増島 淳会員・新間則生会員).

中部支部活動:10月2日、アースサイエンスウィーク・ジャパン in 静岡の最終確認等を行った.11月3日、「ナウマンゾウの標本および収蔵庫の見学会」と題した催し物を実施(参加者:27名、講師:NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク 横山謙二氏・宮澤市郎氏).

第56回年会:10月19日, ふじのくに地球環境史ミュージアムでアースサイエンスウィーク・ジャパンと共同開催した.吉川 真博士(宇宙航空研究開発機構(JAXA)・准教授)の特別講演『「はやぶさ2」の挑戦とこれまでの成果』および斉藤朗三会員,塩坂邦雄会員,加藤国雄会員,竹林知大会員の研究発表を実施した(参加者数不明).

第205 回運営委員会:10月19日, ふじのくに地球環境史ミュージアムで開催.(1)支部報告:各支部から前回運営委員会以降の活動報告があった(詳細は上述の支部活動を参照).(2)第57回総会:開催日は6月14(日)(第一候補)または21日(第二候補)とし,会場は浜松科学館とした.記念講演講師は増田俊明会員(静岡大学・特任教授)とし,変成岩に関する講演をして頂くことにした.(4)その他:本部主催巡検会の復活について協議した.次回運営委員会を2020年3月15日または3月21日とした.(出席委員:熊野・谷口・増島・斉藤俊・斉藤朗・青木・佐藤弘・加藤・坂田尚子(代理))西部支部活動:11月10日,「浜松科学館見学会」と題した催し物を実施(参加者:7名).

会誌第 120 号の発行: 11 月 13 日,「静岡地学」第 120 号を発行. 地学散歩 (100), 研究・報告 4 編, その他地学会のあゆみ (119) を収録 (46p).

第206 回運営委員会: 3月22日, 静岡大学理学部で開催. (1) 支部報告: 各支部から年会以降の支部活動報告がされた(詳細は上述の支部活動を参照). (2) 会計報告: 会計 2019 年度の決算および

2020 年度の予算案について協議した(審議結果は奥付参照). (3) 会員動向:庶務委員から 2019 年度の会員動向について報告され,了承された(会員数,145 名;入会者,9 名;退会者,7 名). (4) 第 57 回総会:6 月 14 日 (日) 13 時から浜松科学館 1 階第 1・第 2 講座室で行うことにした.講師は増田俊明会員(静岡大学防災総合センター・特任教授)とした. (5) 2000 年度運営委員について協議し,了承された(奥付参照). (6) 編集委員会の体制について協議し,各支部の編集委員が投稿原稿の編集作業を分担することになった.また投稿規定の一部(原稿の区分・構成・書式)の改定が了承された. (7) 熊野会長より,アースサイエンスウィーク・ジャパン及び静岡 STEM アカデミーの紹介とそれらへの協力要請があった.(出席委員:熊野・楠・佐藤・谷口・竹林・増島・斉藤俊・新間(斉藤朗の代理)・青木・加藤・今村・森田)